

# 相談室だより 2018年7月

担当：米の山病院 MSW 渡辺

毎日ジメジメとした蒸し暑い日が続きますが、皆様いかがお過ごしでしょうか？  
今回の相談室だよりですが、私が所属する地域医療連携室のメンバーが少し変更となりました。  
これまで、地域医療連携室を引っ張ってこられた、馬場師長が定年退職され、井上管理師長が新しく連携室の師長として、着任されました。  
ということで、新旧交代となった二人から、皆さんへメッセージをいただきました。



馬場師長

祝 60 歳 !!



7月8日の誕生日で還暦となり定年退職となりました。  
馬場師長、本当に今までお世話になりました。  
最後に馬場師長からの挨拶です。

こんにちは。米の山病院地域医療連携室の師長の馬場です。この相談室だよりが皆様のお手元に届く頃には、定年退職を迎えていると思います。  
米の山病院地域医療連携室へ異動となり、約10年。永い間大変お世話になりました。  
地域医療連携室での10年間は、私にとってかけがえのない日々でした。  
連携は人と人を繋ぐ連携、職種間の連携、病院内外との連携、また地域との連携など多岐にわたります。そこを繋ぐ架け橋的な役割が連携室だと思えます。  
連携は相手を知ることから始まります。一方的では、連携は成り立ちません。  
お互いの立場や、役割を尊重して初めて心の通う連携が生まれると信じています。  
そして、それが誰のためか、何のためなのか自分に問いながら患者様、ご家族へ支援をしてきました。私は、この10年間いつもその事を頭の片隅において、日々仕事に励んでまいりました。  
この連携室で多くの方々からいろんな事を学ばせていただいた事は私の宝です。  
そして、どのような状況でも、患者様の事を一番に考え、決して諦める事なく、行動をする親仁会職員の皆さん方へ敬意と、その中で一緒に働く事ができた事に感謝の気持ちで一杯です。  
今後は、地域包括ケアの時代の中、ますます連携室の果たす役割は重要になると思えます。  
米の山病院の地域医療連携室がさらに大きく発展していく事を願い、退職の挨拶と代えさせていただきます。

馬場師長、長い間お疲れさまでした。  
体に気を付けて、第二の人生をエンジョイしてください。  
連携室一同、馬場師長の願いに近づけるよう、これからも頑張って  
発展していきたいと思えます。





井上管理師長

地域医療連携室へようこそ

猫と花が大好きな  
井上師長から着任の挨拶です。



5月16日付で米の山病院地域医療連携室に異動しました井上です。米の山病院での勤務は4年ぶりとなります。病院も新築され全体的に明るく広くなり、若い患者様も増えたように感じました。新病院となり療養環境の改善がされたことで、より地域の方々が御利用しやすい病院になったようです。一方で、社会に目をむけると、社会保障削減がなされ生きにくい状況が生み出されています。病気になり受診して治療したいけど生活するのに精一杯で治療が後回しになってしまう方々もいます。このような相談が地域医療連携室に入ってきます。必要時は、当院の無料低額診療事業の活用により、診療をしてもらっています。「健康で文化的な生活」を送ることは、日本国憲法に明文化された権利でもあります。異動から1か月、目の前には、様々な事例に向き合い奮闘しているソーシャルワーカーや退院支援看護師の姿がありました。まだまだ、彼らの奮闘には及びませんが、支えつつ共に頑張っていきたいと思っております。

井上師長、新しい職場で慣れるのに大変でしょうが、一緒に地域医療連携室を盛り上げていきましょう。これから、よろしくお願ひします。



《おまけ》

緒方主任



特にコメントはいただいていません。

ちなみに数少ない同期入社です。  
3/16に異動してこられ、5階北病棟で張り切ってソーシャルワーク業務を行ってもらっています。



『地域医療連携室』

連携室は、井上師長・緒方主任のほかにも、退院支援看護師とMSW他2名と事務(現在産休中)の合わせて6名で絶賛稼働中です。  
新しくなった、地域医療連携室をこれからもよろしくお願ひします。



8月号へ続く